



産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 26日

埼玉県知事
大野元裕殿

提出者

住 所 埼玉県狭山市富士見2丁目20番1号
氏 名 株式会社コーセー狭山事業所
生産部長 石田 一弘
電話番号 大代表 04 (2957) 2131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 コーセー 狭山事業所
事業場の所在地	埼玉県 狭山市 富士見 2丁目20番1号
計画期間	2023年 4月 1日 から 2024年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	製品出荷額 19,101 (百万円) 【2022. 01. 01 ~ 2022. 12. 31】 ※決算期：1月~12月へ変更
③ 従業員数	607名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添資料参照 (別紙1)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
資料参照 (別紙2)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(工業排水), 脱水汚泥, 廃化粧品(汚泥), 廃油, 廃プラ, 木くず, ガラスくず, 金属くず等	目標に対する削減量
	排出量	40,075.78 t	3,703.02 t 増
	(これまでに実施した取組) 生産量の増加に伴ない汚泥(工業排水)が主として増加している。 (実績評価) 目標 : 36,372.766 t → 実績 : 40,075.780 t 達成率 : 89.81%		
② 計画	【目標】2022年度実績値 → 1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥(工業排水), 脱水汚泥, 廃化粧品(汚泥), 廃油, 廃プラ, 木くず, ガラスくず, 金属くず等	
	排出量	39,675.022 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き分別を徹底し、リサイクル率の向上を図る。 ・排水量の管理と排水の質の変化に対応できる体制を整える。 ・汚泥量(工業排水)の抑制を図り、排水処理量の削減に取組む。 ・他の産業廃棄物の削減も同様に推進していく。 ※資料参照(別紙3-1)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※資料参照(別紙4-1, 4-2, 4-3)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（工業排水）	目標に対する削減量
	自ら脱水処理を行った産業廃棄物の量	39,869.000 t	3,748.355 t 増
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	39,700.320 t	3,750.450 t 増
	(これまでに実施した取組) 生産量増加に伴ない、工業排水量も増加した。 (実績評価) 自処理 目標:36,120.645t 実績:39,869.000t 達成率:89.62% 自中間処理 目標:35,949.870t 実績:39,700.320t 達成率:89.56%		
③ 計画	【目標】 2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥（工業排水）	
	自ら脱水処理を行った産業廃棄物の量	39,470.310 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	39,303.317 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを継続するとともに、製造現場での洗浄水の低減及び濃縮水の低減を継続し汚泥（工業排水）発生量の低減を図る。 排水の質変化に対応できる体制を整え、計画目標を達成すべく排出量の抑制を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(工業排水),脱水汚泥,廃化粧品(汚泥),廃油,廃プラ,木くず,ガラスくず,金属くず等	目標に対する削減量
	全処理委託量	375.460 t	47.436 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	360.310 t	37.997 t 減
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.150 t	9.440 t 減
	(これまでに実施した取組) 廃棄物量が削減傾向となり目標を達成した。 (実績評価)		
	全処理委託量	目標:422.896t 実績:375.460t	達成率:111.21%
	再生熱回収	目標:398.307t 実績:360.310t	達成率:109.53%
	目標: 24.590t 実績: 15.150t	達成率: 138.38%	

(第5面)

②計画	【目標】 2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥(工業排水),脱水汚泥,廃化粧品(汚泥),廃油,廃プラ,木くず,ガラスくず,金属くず等	
	全処理委託量	371.705 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	356.707 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	14.999 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを継続すると共に、影響力の高い脱水汚泥の排出量を注視していく。		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	目標に対する削減量
	全処理委託量	126.750 t	43.253 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	126.750 t	43.253 t 減
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラ（コンパクトロールシール等）の廃棄量が目標値に対し50.7%（51.69 t）減少したため目標達成となった。 (実績評価) 目標:170.003 t 実績:126.750 t 達成率:125.44%		

(第5面)

②計画	【目標】2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	
	全処理委託量	125.483 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	125.483 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	廃油	目標に対する削減量
	全処理委託量	64.200 t	3.742 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	51.250 t	1.443 t 増
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.950 t	5.175 t 減
	(これまでに実施した取組) 廃油の総廃棄量は減少しており目標を達成できた。 (実績評価) 全処理委託 目標:67.942t 実績:64.200t 達成率:105.50% 再生 目標:49.817t 実績:51.250t 達成率: 97.12% 熱回収 目標:18.125t 実績:12.950t 達成率:128.55%		

②計画	【目標】2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	63.558 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	50.738 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	12.821 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃粉体）	目標に対する削減量
	全処理委託量	10.220 t	5.983 t 増
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10.220 t	5.983 t 増
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 搬出の際に、梱包形態と廃棄量に制限があるので前年度廃棄残分も含んだ数量となり数量が増加した。 (実績評価) 目標:4.237t 実績:10.220t 達成率:41.20%		

②計画	【目標】2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃粉体)	
	全処理委託量	10.118 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10.118 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃化粧品）	目標に対する削減量
	全処理委託量	2.200 t	4.265 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.200 t	4.265 t 減
	(これまでに実施した取組) 過去の廃棄量を確認すると2.0 t 近辺で推移しており、通常の廃棄量となっている。(2022年度目標値と比較すると大きく削減) (実績評価) 目標:6.465t 実績:2.200t 達成率:165.97%		

②計画	【目標】2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃化粧品)	
	全処理委託量	2.178 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2.178 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	2.178 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	目標に対する削減量
	全処理委託量	168.680 t	2.095 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	168.680 t	2.095 t 減
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 従来の取り組みを継続して実施。 (実績評価) 目標:170.775t 実績:168.680t 達成率:101.22%		

(第5面)

②計画	【目標】 2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	全処理委託量	166.993 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	166.993 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していくと共に、排水の質変化に対応できる体制を整えていく。		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	木くず（廃木製パレット）	目標に対する削減量
	全処理委託量	3.120 t	0.008 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.120 t	0.008 t 減
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 従来の取り組みを継続して実施。 (実績評価) 目標:3.128t 実績:3.120t 達成率:100.25%		

(第5面)

②計画	【目標】 2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	木くず (廃木製パレット)	
	全処理委託量	3.089 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3.089 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。		
※事務処理欄			

(第4面)

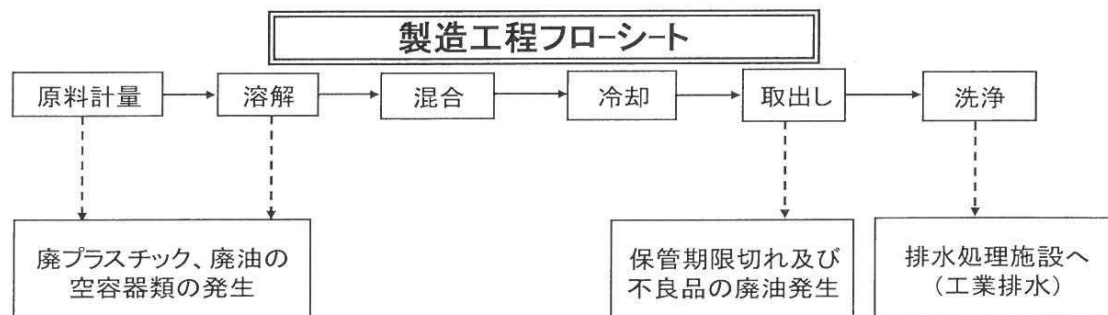
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 2022年度 ）実績		
	産業廃棄物の種類	金属くず（蛍光灯・乾電池）	目標に対する削減量
	全処理委託量	0.290 t	0.057 t 減
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.290 t	0.057 t 減
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 従来の取り組みを継続して実施。 (実績評価) 目標:0.347t 実績:0.290t 達成率:116.42%		

(第5面)

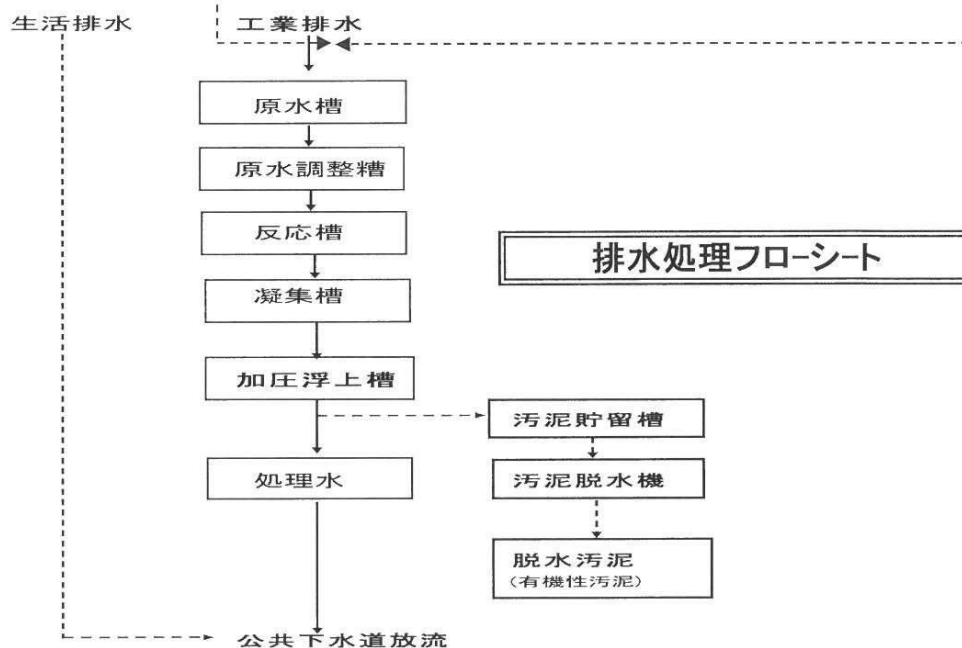
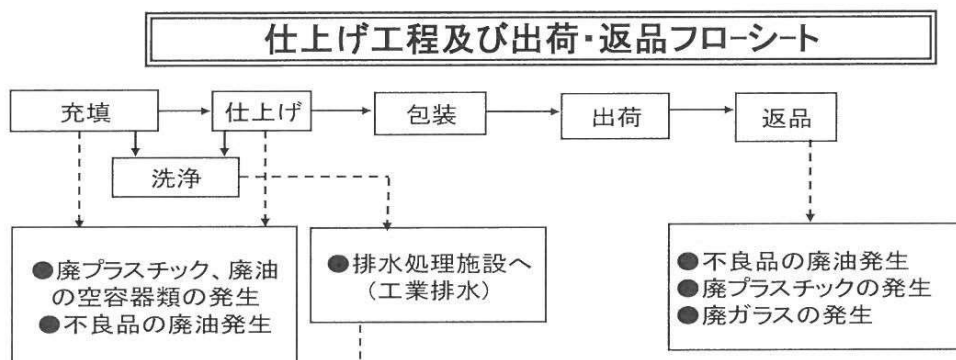
②計画	【目標】 2023年度目標値:前年度実績値より1.0%削減		
	産業廃棄物の種類	金属くず (蛍光灯・乾電池)	
	全処理委託量	0.287 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.287 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の取組みを継続すると共に、計画目標を達成すべく排出量の増減を監視していく。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



※(追記事項)

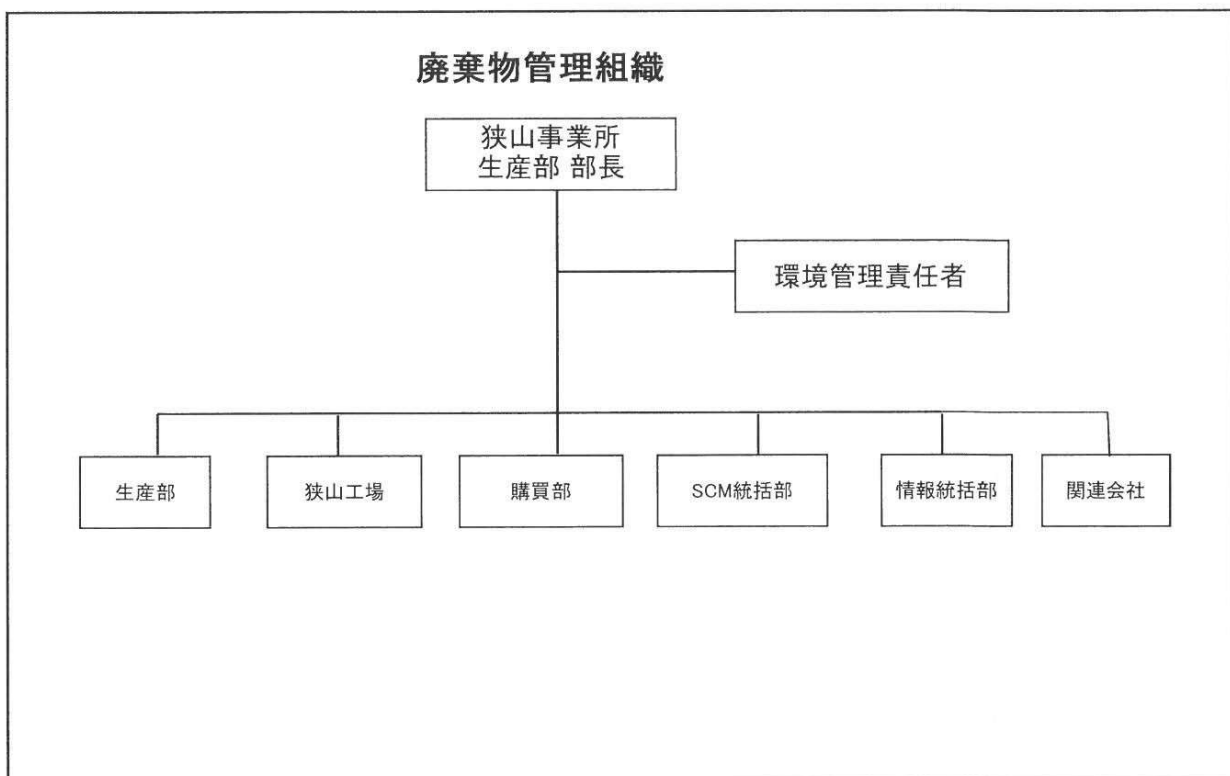


産業廃棄物の処理に係わる管理体制

別紙 2

(責任者及び管理組織図)

統括責任者	所属：生産部 部長
環境管理責任者	所属：狭山工場長
環境ISO推進チーム (ISO14001)	●廃棄物の処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な 廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。
廃棄物 管理担当	所属：狭山工場 総務課 課長 担当 3名
廃棄物 管理担当 課長	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理計画の作成 ●廃棄物の管理状況の把握 ●産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ●廃棄物委託契約の締結 ●廃棄物処理業者の選定及び管理 ●産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の交付・管理 ●監督官庁への各種報告 ●従業員、関連会社に対する教育・啓発 ●その他関係する事項



産業廃棄物の削減計画

別紙 3-1

2022年度削減目標 産業廃棄物の削減目標は、2021年度実績値の1%削減の99%とする。

2023年度削減目標 産業廃棄物の削減目標は、2022年度実績値の1%削減の99%とする。

各目標値については別紙3-4-1(2022年度)と別紙3-4-2(2023年度)を参照ください

目的・目標項目	目標指標	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	施策
廃棄物総量の削減 ※(委託処分量の削減)	前年度の実績値の1.0%削減とする	3298.39t	4131.29t	2240.85t	27738.3t	・生産管理の見直し、工程改善により廃棄バルク 材料不良ロス、梱包材、の削減に取り組む。
		(実績) 4,173 ton (達成率) 73.4% (未達)	(実績) 2263.48t (達成率) 145.2% 目標達成	(実績) 2289.98ton (達成率) 97.8% (未達)	(実績) 35643ton (達成率) 71.5% (未達)	
リサイクル率の向上 ※埋立て委託処分処理を出さない	100%	100%	100%	100%	100%	・分別の徹底、リサイクル技術の調査、検討、 最適な廃棄物処理業者の調
		(実績) 100%	(実績) 100%	(実績) 100%	(実績) 100%	

目的・目標項目	目標指標	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	施策
廃棄物総量の削減 ※(委託処分量の削減)	前年度の実績値の1.0%削減とする	35,286.7t	37,223.9t	36,372.7t	3,9842.0t	・生産管理の見直し、工程改善により廃棄バルク 材料不良ロス、梱包材、の削減に取り組む。
		(実績) 37,597.1ton (達成率) 93.4% (未達)	(実績) 36,912.6ton (達成率) 100.8% (達成)	(実績) 40,075.7ton (達成率) 89.8% (未達)	(実績) ton (達成率) % (未達)	
リサイクル率の向上 ※埋立て委託処分処理を出さない	100%	100%	100%	100%	100%	・分別の徹底、リサイクル技術の調査、検討、 最適な廃棄物処理業者の調
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	

産業廃棄物の種類別発生・処理状況 (2022年度実績)

別紙 3-2

廃棄物の種類		性状	発生源	排出量 (kg)	処理方法(現状の工程) (中): 中間処理 (最): 最終処分 ○: 自己処理 ●: 委託処理
再生	廃プラ(汚れ有)	固形	生産前工程での旧材料廃棄、製造・生産・工程での廃棄	26,530	
再生	廃プラ(緩衝材)			9,550	
再生	廃プラ(プレス)			35,930	
再生	廃プラ (コンパクトロールシール等)			53,230	
再生	廃プラ合計 サーマルリサイクル			125,240 前年 169,310	
再生	廃プラ(綺麗) マテリアルリサイクル	固形	”	1,510 前年 2,410	・再生プラスチック (最) ● ※マテリアルリサイクル
熱回収	廃プラ 焼却だが、燃殻の再利用で 処分場への搬出無し	固形	”	0 前年 0	・焼却→燃え殻は、路盤材 (最) ● ※焼却ではあるが、燃殻の再利用で処分場への搬出無し
総廃プラ				126,750	
再生	廃油(軟バルク) サーマルリサイクル	液状	”	51,250 前年 50,320	・燃料化 (最) ● ※サーマルリサイクル
熱回収	廃油(硬いバルク)	固形・液状	”	12,950	
熱回収	廃油(バルク口紅)			0	
熱回収	廃油合計 焼却だが、燃殻の再利用で 処分場への搬出無し			12,950 前年 18,308	
総廃油				64,200	
再生	汚泥(廃粉体)	粉状	”	10,220 前年 4,280	・堆肥化 (最) ● ※ケミカルリサイクル
熱回収	汚泥(廃棄化粧品)		”	2,200 前年 6,530	・焼却→燃え殻は、路盤材 (最) ● ※焼却ではあるが、燃殻の再利用で処分場への搬出無し
	汚泥(有機性) (工業排水)	排水	製造工程・生産工程(洗浄等) での排水	39,869,000 前年 36,485,500	
再生	自ら中間減量した 脱水汚泥は業者へ	排水 泥状	排水処理工程 (中間処理→委託処分)	39,700,320 168,680	有機性汚泥を脱水→脱水汚泥を堆肥化 (最) ●
再生	廃木製パレット		生産前工程での旧材料廃棄 製造・生産・工程での廃棄	3,120 前年 3,160	・再生 木材ボード (最) ● ※マテリアルリサイクル
再生	廃ガラス(綺麗)		”	0	・破碎→原材料 (最) ●
熱回収	廃ガラス(汚い)		”	0	・汚い廃ガラス分は、溶融→路盤材 (最) ●
廃ガラス				0 前年 0	
熱回収	特管廃棄物	液状	”	0 前年 0	・焼却→燃え殻は、路盤材 (最) ● ※焼却ではあるが、燃殻の再利用で処分場への搬出無し
再生	蛍光灯		”	290 前年 310	・再資源化 (最) ● 水銀、ガラス、金属分離回収100%リサイクル
再生	乾電池		”	0 前年 40	・再資源化 (最) ● 亜鉛、銅、メタル、分離回収100%リサイクル
合計				40,075,780	前年度合計

業者委託

375,460

前年度業者委託

416,358

産業廃棄物の種類別発生・処理状況 (2022年度実績)

別紙 3-3

※上記の表記載の各種産業廃棄物の処理は、何らかの形で再資源化を推進しています。
最終埋立処分場(管理型)への搬出を限りなくゼロへ推進する
ゼロエミッション活動を展開している。(ISO 14001)

※参考 ・産業廃棄物の処理施設の設置状況

	処理対象物	処理方法	処理能力	設置年月	設置場所
汚泥の脱水施設	有機性汚泥	多重円盤式ろ過	12ton/日	平成 3年 9月	事業所内
ごみ減容機	プラスチック ビニール袋 ウレタン	圧縮プレス		平成12年 3月	事業所内

- ・脱水機のメンテナンスは、年1回の定期整備にて、磨耗部品等の交換・調整修理を保守計画に沿って実施し、良好な運転状態を維持する事に努めている。
現在使用に当たっての問題点等は、発生していない。
- ・ごみ減容機については、容量を減容化する事により、保管スペースの確保、搬出時の適正な積込み、運送中の飛散防止等に役立てている。

前年度(2022年度)廃棄物削減目標値

■ 2022年度産業廃棄物削減目標値

	廃棄物の種類	2021年度実績値 排出量 (kg)	2022年度目標値 (2021年度実績*0.99)排出量 (kg)
再生	廃プラ(汚れ有)	18,960	18,770
再生	廃プラ(緩衝材)	9,870	9,771
再生	廃プラ(プレス)	35,560	35,204
再生	廃プラ (コンパクトロールシール等)	104,920	103,871
再生	廃プラ合計①	169,310	167,617
再生	廃プラ(綺麗)②	2,410	2,386
再生	総廃プラ ①+②	171,720	170,003
再生	廃油(軟バルク)	50,320	49,817
再生	廃油合計(再生)	50,320	49,817
熱回収	廃油(硬いバルク)	16,900	16,731
熱回収	廃油(バルク口紅)	1,408	1,394
熱回収	廃油合計(熱回収)	18,308	18,125
再生+熱回収	総廃油	68,628	67,942
再生	汚泥(廃粉体)	4,280	4,237
熱回収(焼却)	汚泥(廃棄化粧品)	6,530	6,465
	汚泥水総量(工業排水)	36,485,500	36,120,645
	自ら中間処理で減量した量	36,313,000	35,949,870
再生	業者委託の搬出脱水汚泥	172,500	170,775
再生	廃木製パレット	3,160	3,128
再生	廃ガラス(綺麗)	0	0
熱回収	廃ガラス(汚い)	0	0
再生+熱回収	廃ガラス	0	0
熱回収	特管廃棄物	0	0
再生	蛍光灯	310	307
再生	乾電池	40	40
再生+熱回収	産業廃棄物総含量	36,740,168	36,372,766
再生+熱回収	業者全委託合計	427,168	422,896
再生	業者全委託再生合計	402,330	398,307
熱回収	業者全委託熱回収合計	24,838	24,590

本年度(2023年度)廃棄物削減目標値

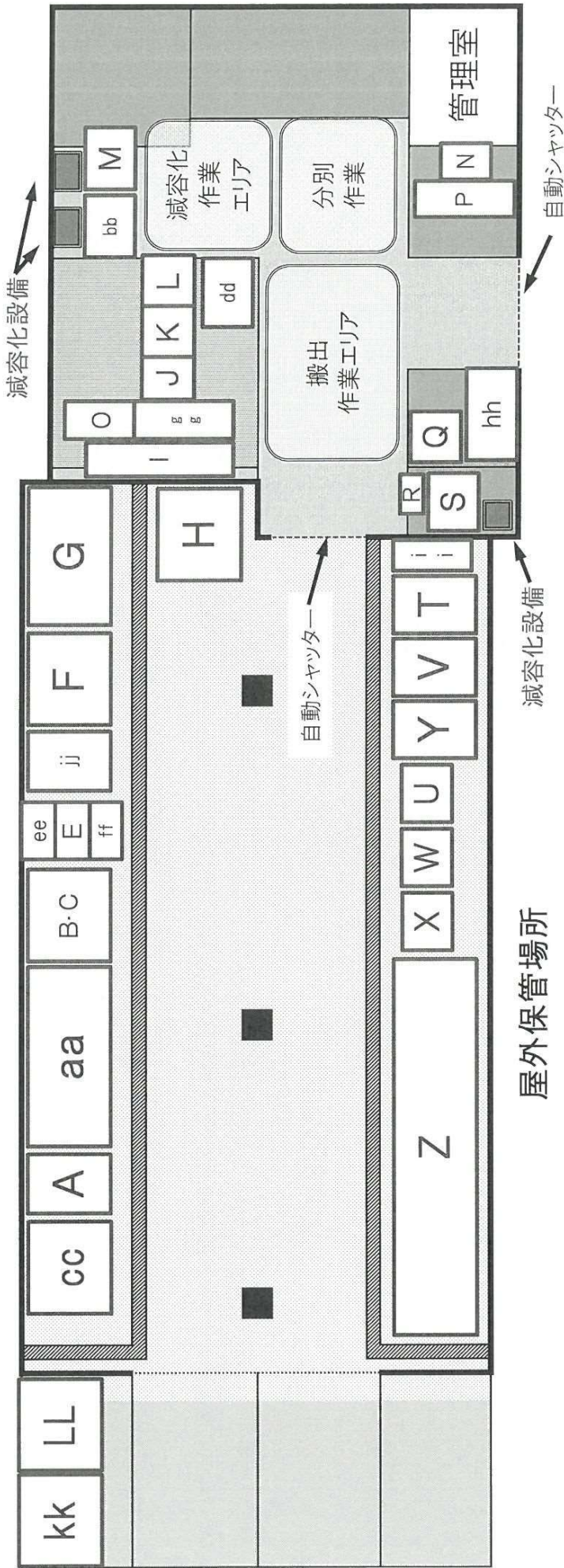
■2023年度産業廃棄物削減目標値

	廃棄物の種類	2022年度実績値 排出量 (kg)	2023年度目標値 (2022年度実績*0.99)排出量 (kg)
再生	廃プラ(汚れ有)	26,530	26,265
再生	廃プラ(緩衝材)	9,550	9,455
再生	廃プラ(プレス)	35,930	35,571
再生	廃プラ (コンパクトロールシール等)	53,230	52,698
再生	廃プラ合計①	125,240	123,988
再生	廃プラ(綺麗)②	1,510	1,495
再生	総廃プラ ①+②	126,750	125,483
再生	廃油(軟バルク)	51,250	50,738
再生	廃油合計(再生)	51,250	50,738
熱回収	廃油(硬いバルク)	12,950	12,821
熱回収	廃油(バルク口紅)	0	0
熱回収	廃油合計(熱回収)	12,950	12,821
再生+熱回収	総廃油	64,200	63,558
再生	汚泥(廃粉体)	10,220	10,118
熱回収(焼却)	汚泥(廃棄化粧品)	2,200	2,178
	汚泥水総量(工業排水)	39,869,000	39,470,310
	自ら中間処理で減量した量	39,700,320	39,303,317
再生	業者委託の搬出脱水汚泥	168,680	166,993
再生	廃木製パレット	3,120	3,089
再生	廃ガラス(綺麗)	0	0
熱回収	廃ガラス(汚い)	0	0
再生+熱回収	廃ガラス	0	0
熱回収	特管廃棄物	0	0
再生	蛍光灯	290	287
再生	乾電池	0	0
再生+熱回収	産業廃棄物総含量	40,075,780	39,675,022
再生+熱回収	業者全委託合計	375,460	371,705
再生	業者全委託再生合計	360,310	356,707
熱回収	業者全委託熱回収合計	15,150	14,999

■大分類	■廃棄物の分別区分		■処理フロー	■保管場所	■マニフェストの有無	■処理方法	
一般廃棄物	紙類	ダンボール、ロール芯、厚紙類、紙仕切、紙外箱	II	c c	不要	ダンボール原紙	
		J箱(紙)			不要	コート紙下層	
		J箱(窓付、外包装フィルム付、緩衝材付)	III	M・P	要	R P F (固形燃料)	
		上質紙(モルト付き)	II・III	I	要	焼却	
		再生紙(コピー用紙)			不要	トイレットペーパー、新聞紙	
		コンピュータ用紙、OA紙			不要	コート紙上層	
		新聞紙、雑誌			不要	トイレットペーパー、新聞紙	
	金属類	鉄屑、(分解品、金属製品、ネジ、スプレー缶、金皿、口紅金属容器)	II	a a	不要	リサイクル	
		アルミ系			不要	金属回収	
		家電、精密機器、機械パーツ			不要	リサイクル	
その他	乾燥剤	II・III	F	要	焼却		
産業廃棄物	脱水汚泥		I	32号棟	要	堆肥	
	床掃きゴミ		II・III	R	不要	燃料	
	プレスゴミ	紙類	III	M	要	R P F (固形燃料)	
		ビニール	III	M	要	R P F (固形燃料)	
	プラスチック類	きれいなプラスチック		II	G	要	原材料 溶鉱炉還元剤
		汚れたプラスチック (輪ゴム、PPバンド、エンビ、J箱プラ、 プラ容器、プラ製品、ゴム手袋 等)		II	F・H	要	R P F (固形燃料)
		ストレッチフィルム		II	b b	不要	燃料
		モルト、ミラーマット		II・III	P	要	R P F (固形燃料)
		緩衝材、発砲スチロール(プチプチなど)		II・III	P	要	R P F (固形燃料)
	ガラス類	割れてないガラス		II	V	要	原材料(ペレット)
		割れたガラス		II	i i	要	焼却・スラグ化
	原料・バルク 廃油類	バルク付着(ビニール・紙類)		II・III	J	要	燃料・材料 (セメント工場)
		バルク(軟らかい)		II	Z	要	燃料・材料
		バルク(硬いアイ製品バルク等)		II		要	焼却・スラグ化
		廃油		II		要	焼却・スラグ化
		口紅		II		要	焼却・スラグ化
		粉体		II	Y	要	堆肥
	木製パレット(木くず)		II	A	要	パーティクルボード	
	電気類	蛍光灯・電球		II	D	要	水銀回収、ガラス原料
		電池・ライター		II	e e	要	金属回収
		電気コード		II	C	要	焼却埋立
	製品廃棄(検査サンプルなど)		IV	h h	要	焼却してスラグ化 (ガラス瓶は一部焼却)	
	巻紙 ロール紙		II・III	K	要	燃料	
	印字リボン		II・III	d d	要	燃料	
	バインダー、ファイル		II・III	O	要	焼却	
	複合物(マスカラ、ブラシ、ポーチ等)		II・III	Q	要	R P F (固形燃料)	
	コンパクト		II・III	h h	要	R P F (固形燃料)	
刃物(カッター、はさみなど)		II	f f	不要	リサイクル		
靴		II	U	要	燃料		
パフ		II	X	要	燃料		
布(軍手、作業衣、ウエスなど)		II・III	L	要	焼却・スラグ化		
缶系(一斗缶)		II・III	S	不要	焼却・鉄くず		
その他(マット系、ホース系など)		II	T	要	焼却		
文房具(ペン系、カートリッジ系)		II	E	要	焼却		
特別管理 産業廃棄物	検査試薬類		v	10号棟	要	焼却	
	原料(劇物、危険物)					焼却・スラグ化	
	バルク(マニキュア、香水、オーデコロン)						
	有機溶剤(分析用溶剤等)						
	バッテリー(業者引取りの場合がある)		II・III	C	不要	燃料	

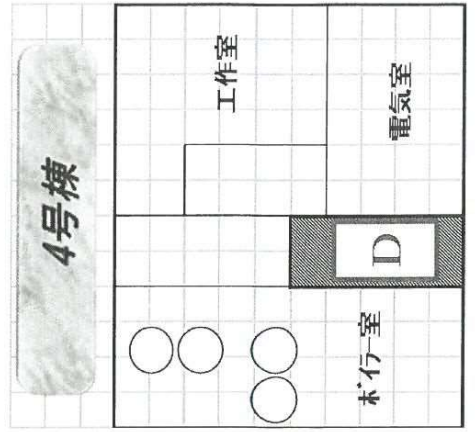
廃棄物の内(紙ごみ・ビニール・雑芥、汚れたプラスチック、原料・バルク類)などについては、必要に応じて各部署で重量を計測する。(各部門・部署の実施計画に基く)

リサイクルターミナル(狭山)のレイアウト



屋外保管場所

分別区分	場所	分別区分	場所	分別区分	場所
木製パレット(木屑等)	A	モルト付上質紙	N	鉄屑(分解品)	aa
家電、精密機器	B	パインタ、ファイル等	O	ストレッチフィルム	bb
電気コード、機器類	C	緩衝材類	P	ダンボール(芯、厚紙、仕切、外箱)	cc
蛍光灯、電球	D	複合物(マスカラ、プラスチック、ホチ等)	Q	印字リボン	dd
文房具類	E	床掃きゴミ	R	ライター・電池	ee
汚れプラ	F	一斗缶類	S	刃物(はさみ・カッター等)	ff
きれいなプラ	G	複合物(イス、金具付パケツ等)	T	雑誌・新聞紙	gg
汚れプラ(大きいプラスチック類)	H	靴	U	製品廃棄	hh
OA紙	I	割れないガラス	V	割れたガラス	ii
バルク付ビニール	J	アルミ類	W	汚れ青ポリ	jj
巻紙、ロール紙	K	パフ	X	生ゴミ	kk
布類(作業着、軍手等)	L	バルク(粉体)	Y	カンテン培地	ll
紙ゴミ・ビニール類	M	バルク・廃油	Z		



コーセー狭山事業所 廃棄物保管場所配置図

敷地面積 : 106,161㎡

